

=特集=

希望郷
いわて
国体

葛巻の炬火名が決定

思いを一つに 未来へ届け くずまきの火

8月11日と16日、いわて国体の葛巻町炬火イベントが開催されました。

11日は、グリーンテージ駐車場で採火式が行われ、小屋瀬小児童らで構成する葛巻地区森林愛護少年団10人が参加。昔の火おこし方法であるマイギリ式の道具と、虫眼鏡を使用した採火に挑戦。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、見事に採火し、「葛巻の火」として点火台に炬火が灯されました。

この「葛巻の火」は、7月に名称を公募。集まった35点を選考した結果、星野智哉君（葛巻小3年）の作品「思いを一つに未来へ届け くずまきの火」が町の炬火名に決まりました。

16日には、くずまき夏まつり会場（葛巻小グラウンド）で、炬火イベントが行われ、炬火名の表彰式のほか、いわて国体総開会式の集火セレモニーに、町の代表として参加する阿部海翔君（葛巻高2年）の紹介が行

われました。海翔君は「炬火の名に恥じないよう、堂々と走ってきます」と力強く意気込みを語りました。

炬火名表彰者

【最優秀賞】

▽思いを一つに 未来へ届け くずまきの火
星野智哉君（葛巻小3年）

【優秀賞】

▽風にのり 選手よはばたけ くずまきの火
遠藤朝陽さん（葛巻小3年）

▽自然の恵み 豊かな心 くずまきの火
日向スミ子さん（小苗代）

記念ステッカーを貼って
国体を盛り上げよう！
記念ステッカーを全戸配布しますので、玄関先などに掲示して、国体を盛り上げましょう！



役場玄関のショーウィンドーに、希望郷いわて国体の炬火イベントに使用した点火台やTシャツのほか、昭和45年に開催された「第25回国民体育大会みちのく国体」、昭和34年に開催された「東京オリンピック」の炬火リレーで使用されたユニホームや写真を展示しています。過去と現在の炬火イベントが比較できる貴重な資料ですので、役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。

炬火の温故知新



葛巻サッカースポーツ少年団

サッカーで友好市町との絆深める

新ひだか町(北海道) - 葛巻町 - 南あわじ市(兵庫県)

7月30日と31日の2日間、北海道新ひだか町の高静小グラウンドで、しずないカップ全国招待少年サッカー大会（同町静内少年サッカー連絡協議会主催）が開催され、葛巻サッカースポーツ少年団（橋本明監督）の4～6年生のほか、指導者や保護者ら総勢22人が参加しました。

サッカーを通じてさらに交流を深めていこうと、友好町である新ひだか町から招待を受け、今回初めて本町のサッカー少年団が参加。このほか、本町と新ひだか町の友好町である兵庫県南あわじ市の西淡SSS、北海道から新ひだか町の高静サッカー少年団など8チーム、計10チームが参加し熱戦を繰り広げました。

選手らは試合を通じて絆を深め、お互いの技術を磨き合いました。初日の夜には、友好市町の交流会も行われ、新ひだか町と南あわじ市の選手や指導者、保護者らと交流を深めました。



まなびい 掲示板

生涯学習フェスティバル

個人展の作品を募集します

10月22日(土)～23日(日)に開催される生涯学習フェスティバルに作品を出展する方を募集しています。皆さまの丹精込めた作品をぜひご披露ください。

▷出展数 1人3点程度 (出展無料)

▷申込み 10月7日(金)までに教育委員会へ

▷作品搬入 作品は、10月21日(金)に社会体育館にお持ちください。都合のつかない方は事前に教育委員会にご連絡ください。

☎教育委員会 ☎66-2111 内線275



昨年は約400点の作品が展示された



『命はどうしてたいせつなの？』
大野 正人 作

子どもたちに訪れる「こころの壁」に向き合い、心を強くするためのヒントが詰まった絵本シリーズ。人間は動物や植物の「命」をもらうことで生きていること（食物連鎖）、代々引き継がれたこと（世代交代）を分かりやすく紹介し、命の大切さを伝えます。



『晩秋の陰画』
山本 一カ 作

愛情や友情、機知、そして毒…不可思議な人間の心の奥底を描ききった限りなく豊潤な極上のミステリー作品です。物語の舞台も東京、香港、フランス、アメリカなどさまざま。その土地の雰囲気が巧みに表現されていて、ストーリーに深みを増しています。



『お弁当も やせるおかず 作りおき』
柳沢 英子 作

累計33万部超の大ヒットシリーズ「やせるおかず作りおき」から食べてやせるお弁当が登場。身近な食材、調味料だけで手間なく作れておいしい「やせおか」の特徴はそのまま。匂いの強いものを避け、お弁当に詰めやすいものを厳選。読めば絶対試したくなるレシピがたくさん！

公民館 図書室から 本の紹介

● 開館時間：午前8時30分～午後7時
● 休館日：年末年始